

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	人事評価制度充実事業		
事業担当	総務部 職員課		
予算科目	0-'xxxxxx-'xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'13	市民の視点に立ち、成果を重視した行政経営を展開するために	
	'01	市民の視点に立ち、成果を重視した行政経営を展開するために	
	'02	2 成果重視の行政運営	
根拠法令等			
対象・受益者	職員	事業期間	～ 平成27年度
委託、協働	【委託: 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
職員の能力や業績が適正に評価され、処遇に反映されることで、成果重視の行政運営が図られています。		人事評価制度を充実するとともに、制度に対する職員の理解を深め、適正な制度の運営を図ります。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	評価者及び被評価者研修の実施回数	単位	回
	説明・算定式	評価者及び被評価者研修を実施することにより人事評価制度の理解を深め、適正に運用する。		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	8	8	5
	実績	10	8	4
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	公平・公正な評価が行われていると感じている職員の割合	単位	%
	説明・算定式	人事評価システムの運用に関して職員アンケートを実施して把握する。		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	90	93	95
	実績	98	96	100
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標			
	実績			
進捗状況	②：若干遅れている			
	遅れている理由	すべての職員への研修を実施できたため		
平成27年度の主な取組と成果				
新採用職員への被評価者研修を実施し、人事評価にかかる研修の未受講者の解消に努めると同時に、新任評価者研修を実施することで、制度の理解を深め、適正な運用を図りました。				
平成27年度の検証結果	A：成果があがった			

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	業績や能力による評価をするためには、評価者と被評価者の間でコミュニケーションを深めることが重要であり、事業の必要性は高いと考えます。	● 高 ○ 低
	有効性 <input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	新たな評価者や被評価者への研修を実施することで制度の理解が図られるため、有効性は高いと考えます。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	公平・公正に評価していくことは人材育成の面からも必要であり、妥当性は高いと考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性 <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	適正評価に努め、被評価者に納得性を求めるほど事業の効率性は低くなると考えます。	○ 高 ● 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 勤勉手当への査定など処遇反映の導入と、制度の充実を図ります。			

### 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	
事業内容		評価者研修(フォロー)の実施	評価者研修(フォロー)の実施	評価者研修(フォロー)の実施	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	起債	0	0	0	
	その他 特財	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	
事業費 (A)		0	0	0	
執行率 (%)		—	—	—	

### 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合
<b>&lt;判断理由&gt;</b> ひらつか協働経営プランが平成27年度で終了することに伴い、行政改革事業としては終了しますが、今後も評価者・被評価者に対する制度理解を進め、成果重視の行政運営につなげてまいります。
<b>課長コメント</b> 行政改革事業としては終了しますが、制度の理解を深めるとともに、評価結果を勤勉手当率の査定に活用するなど、処遇への反映について検討します。

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	職員研修事業		
事業担当	総務部 職員課		
予算科目	1-'020101-'090000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'13	市民の視点に立ち、成果を重視した行政経営を展開するために	
	'01	市民の視点に立ち、成果を重視した行政経営を展開するために	
	'02	2 成果重視の行政運営	
根拠法令等	地方公務員法など		
対象・受益者	職員	事業期間	
委託、協働	【委託： ○3セク・財団 ○企業 NPO ○その他】【協働： 大学など】		
目的・目標		事業の概要	
職員の能力向上が図られ、市民の視点に立った成果重視の行政経営が展開されています。		平塚市職員育成基本方針に基づき、新しい時代に求められる職員像の実現に向け、職員研修の充実に取り組みます。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	職員の研修に対する満足度の把握			単位	件
	説明・算定式	研修受講者は毎回研修終了後に研修受講報告書を提出する				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	1	1	1		
	実績	1	1	1		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	研修内容に満足している職員の割合			単位	%
	説明・算定式	研修受講報告書により研修内容等に満足している割合				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	95	90	95		
	実績	92	94	94		
成果指標②	指標名	職員のニーズに対応した研修の実施			単位	件
	説明・算定式	研修受講報告書により把握した職員の研修に対する要望を分析し、研修の実施に反映させる。				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標			1		
	実績			1		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
窓口業務所管課を中心にCS向上のための職場診断、集団研修及び現場指導を実施し、職員の接遇力強化を図りました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市として行政の民主的かつ能率的な運営に資するため、職員の職務遂行に必要な知識及び技能を増進することは必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	複雑・多様化する住民ニーズに対応するため、職員には高い政策立案能力などが求められるため、効果的と考えられます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	職員の公務能率の向上を図るため、それぞれの目的に合った研修事業を計画的に実施することは妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	研修事業の実施にあたり、外部委託や庁内講師の活用など効果的な手法を検討することは効率的です。	● 高 ○ 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 平塚市職員育成基本方針に基づき、地方公務員を取り巻く環境の変化と多様化する住民ニーズに的確に対応するため、効率的かつ効果的な手法で研修を実施することが必要です。				

### 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		自己啓発研修、職場研修、集合研修、派遣研修の充実	自己啓発研修、職場研修、集合研修、派遣研修の充実	自己啓発研修、職場研修、集合研修、派遣研修の充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	32	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	221	163	637
	一般財源	10,559	10,014	8,825
事業費 (A)		10,812	10,177	9,462
執行率 (%)		85.05	84.11	78.50

### 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の事業の方向性
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合
<判断理由> 職員の資質向上のため、平塚市職員育成基本方針に基づき、より充実した職員研修を行うことが必要です。
課長コメント 効率的かつ効果的な手法により、成果を重視した研修が実施できるよう検討していきます。

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	職員提案・業務改善推進事業		
事業担当	総務部 行政総務課		
予算科目	1-'020106-'090000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'13	市民の視点に立ち、成果を重視した行政経営を展開するために	
	'01	市民の視点に立ち、成果を重視した行政経営を展開するために	
	'02	2 成果重視の行政運営	
根拠法令等	平塚市職員提案及び業務改善奨励規程		
対象・受益者	職員	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
行政運営の効率化及び市民サービスが向上するとともに、職員の意識改革及び組織の活性化が進んでいます。		広く職員に市政全般に関する提案及び事務事業等に関する業務改善の実施を奨励するため、職員提案制度及び業務改善制度を推進し、優秀な職員提案及び業務改善について褒賞を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	職員提案件数	単位	件
	説明・算定式	事務提案とチャレンジ提案の合計件数		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績	64	52	48
活動指標②	指標名	業務改善報告件数	単位	件
	説明・算定式	-		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績	152	223	254
成果指標①	指標名	職員提案実施率	単位	%
	説明・算定式	実施（一部実施を含む）件数／直近3年度の採用（表彰）件数×100		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績			75
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績			
進捗状況	②：若干遅れている			
	遅れている理由	職員提案は、前年度の審査結果の厳しさや実施率の低迷等が影響していると考えられる。		
平成27年度の主な取組と成果				
制度の見直しやPRの工夫などにより提出の促進と周知を図ることで、合計302件の職員提案・業務改善が提出され、職員提案3件、業務改善10件を表彰しました。特に業務改善については、提出件数が前年度比約13.9%増となり、業務への取組に対する職員の意識改革が見られます。				
平成27年度の検証結果	A：成果があがった			

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	事業の実施が職員の意識改革や職場の活性化に関係するため、目標とする行政運営の効率化や市民サービスの向上を図るためには不可欠です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	職員提案や業務改善を通じ、職員の意識改革や職場の活性化を継続的に行うことにより、行政運営の効率化や市民サービスの向上につながるため有効性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	行政運営の効率化や市民サービスの向上を図るためには、職員一人一人の意識改革及び職場の活性化によるところが大きいため、事業の目的及び対象は妥当と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	多くの職員提案、業務改善報告が提出された場合、その審査に要する時間がかかってしまうため、効率的な方法を模索するとともに、公正な審査を行う必要があると考えます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 提出件数が減少傾向にある職員提案については、取り組みにくさの原因を考え、制度を見直していく必要があります。また、業務改善報告については、課によって提出件数に偏りがあるため、全庁的な取組となるようさらなるPR方法等を検討していく必要があります。				

### 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		庁内周知、提案・改善の募集、審査・褒賞、提案実施状況把握	庁内周知、提案・改善の募集、審査・褒賞、提案実施状況把握	庁内周知、提案・改善の募集、審査・褒賞、提案実施状況把握
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	36	33	35
事業費 (A)		36	33	35
執行率 (%)		34.29	31.43	33.33

### 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の事業の方向性</b> <input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 制度を工夫しながら継続していくことで、職員の意識改革及び組織の活性化を図り、もって行政運営の効率化及び市民サービスの向上に繋げるため制度を推進します。
<b>課長コメント</b> 前年度を踏まえた上で、更に職員の政策形成能力を向上させ、意識の高揚を図り、もって行政運営の効率化及び市民サービスの向上につなげられるように制度を工夫していきたいと考えています。

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	事業選択手法活用事業		
事業担当	企画政策部 企画政策課		
予算科目	0-xxxxxx-xx0000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
行政改革の位置付け	'13	市民の視点に立ち、成果を重視した行政経営を展開するために	
	'01	市民の視点に立ち、成果を重視した行政経営を展開するために	
	'02	2 成果重視の行政運営	
根拠法令等			
対象・受益者		事業期間	平成22年度 ~ 平成27年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
限られた人材や財源を有効に活用するために、市政のスリム化（事業等の廃止、縮小の可能性）や効率化などの検証が行われ、行政サービスの改革が着実に進む仕組みが定着しています。		市政のスリム化（事業等の廃止、縮小の可能性）や効率化などの検証として、行政サービスのそもそもの必要性や実施主体などの視点から評価を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	評価作業の実実施回数			単位	回
	説明・算定式	評価作業を実施した回数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		1	1		
	実績		1	1		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	見直しの実施率			単位	%
	説明・算定式	対象となった事業等のうち、「見直し」を要する結論となった事業等の見直し率				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		100	100		
	実績		90	17		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
3施設3事業を対象に平塚市行政改革推進委員会による事業評価を実施し、全ての施設・事業について、見直しが必要である旨の評価となりました。平成27年度中に1事業の見直しを行うとともに、その他の事業については、更なる調整・検討を行うこととし、行政サービスの改革を進めました。						
平成27年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地域主権が進む中、限られた人材や財源を有効に活用して、より一層効果的・効率的な行政運営を行うことが求められています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民サービスとしての必要性、実施主体のあり方及び実施手法の妥当性などについて検討し、限られた人材や財源を重点的に実施する事業に充当することで市民満足度の向上につながると考えられます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業の見直しを図るため、事業等の評価を行っていきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業評価に当たっては、評価手法、手順を効率化していく必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 事業を単位とした評価は平成21年度から実施しており、一定の見直しを進めてきました。また、平成27年度には新たな総合計画・行財政改革計画が策定され、施策が変わる中で、事業等の見直しに係る手法についても、今後の方向性を検討する必要があります。				

### 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		内部評価の実施、事業の見直し、予算への反映	外部評価の実施、事業の見直し、予算への反映	外部評価の実施、事業の見直し、予算への反映
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		—	—	—

### 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の事業の方向性</b> <input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input checked="" type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合
<b>&lt;判断理由&gt;</b> ひらつか協働経営プランが平成27年度で終了すること及び事業を単位とした評価の方向性をゼロベースで検討することから、本事業は終了します。
<b>課長コメント</b> 従来実施してきた事業評価の検証を進め、今後の事業の見直し手法を再度検討する必要があると考えています。